

# 桜井民報

編集・発行：日本共産党桜井市委員会  
桜井市栗殿588-7 吉田ただお事務所  
☎/FAX:0744-46-4930  
ホームページは以下検索して下さい

日本共産党市会議員 吉田忠雄



新成人のみなさんにエール

## 吉田ただお 12月議会報告 2020年 1月号 No.77号

### ワカサギの放流事業復活で 倉橋ため池と周辺地域資源の有効活用を



倉橋ため池

現在、倉橋ため池を有効活用する目的で農林課が中心となって、ワカサギの放流事業を

吉田議員

放流事業を行うための調査や検討はどうなっているか

おこなうための調査や検討がおこなわれていると聞いているが。

施設の管理運営  
や外来魚の駆除  
方法を調査・研究中

松井市長

現在、ワカサギ釣りを実施している吉野町の津風呂湖を訪問し、施設の管理運営方法について聞き取り調査をおこなった。

また、倉橋ため池にはブラックバスやブルギルといった外来種が多数生息しており、駆除方法について大和郡山市の金魚漁業組合に意見を伺っている。

「あいさつ」

2020年の幕開けにあたりまして、みなさんのご多幸をご祈念申し上げます。今年も市民のくらしと医療や福祉を守り、誰もが安心して暮らせる市政をめざして頑張ります。

1月13日には、市民会館前で新成人のみなさんに、「若者の願いは今の政治を変えることと実現します。みなさんと力を合わせたら、今の政治や社会を動かすことができます。一緒に、第一歩を踏み出しましょう。」と心

からお祝いのエールを送りました。（写真上）

令和元年第4回定例会は、12月3日（20日）まで開かれ、一般質問では「地域資源の活用」「生活保護制度」の2点について松井市長に質問しました。

「大和川（初瀬川）」

や寺川の草刈りや川底の土砂を取り除いてほしい」と以前から市民より要望が寄せられており、吉田



寺川（2020年1月）

地元の方々の  
ノウハウ活用を

吉田議員

かつて倉橋ため池のワカサギ釣りは、関西でも有名な釣り場であった。放流事業をおこなうことになった場合、池の管理と運営を地元の方々にお願いができれば、当時のノウハウも活用して進めていくのでは。一方、ブラックバス対策をどう解決するかという課題もあるが。

松井市長

池の管理運営については、かつてワカサギ放流事業をしておられた経験豊富な地元有識

川がきれい  
になって、  
うれしいわ

議員はじめ、市議・県議らが県に要求していました。今年になって川底の土砂を取り除く工事が本格的に始まりました。

前と後



初瀬川（2020年1月）

で区切り、外来魚との生息域を区分することを検討している。



必要性は理解しているが、少し猶予をいただきたい

吉田議員

事業を軌道に乗せるまでには、ワカサギの卵の購入やブラックバスを防ぐための網や、桟橋づくりの費用がかかる。そのための予算が必要だが。

松井市長

倉橋ため池を含む周辺地域活性化事業として必要性は十分理解をしているが、都市公園整備など優先しなければならぬ課題もあり、予算的に許せる時期まで少し猶予をいただきたい。



# 生活保護 制度は

# 最後のセーフネットとしての役割を 取る

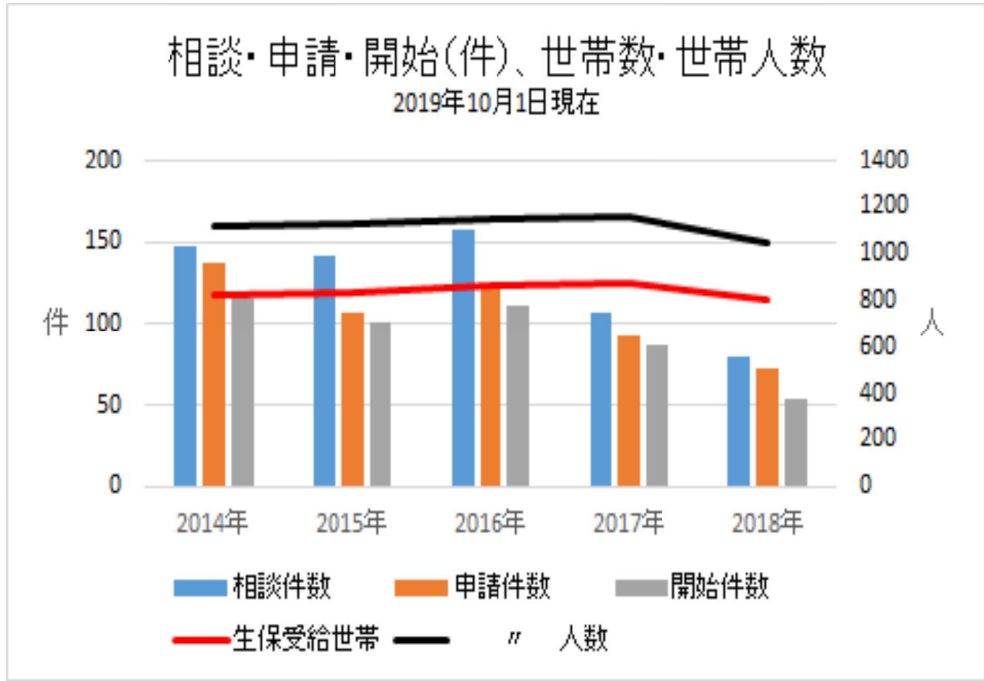
## 五年間で相談・申請・ 開始件数が半減

吉田議員

生活保護制度は、「最後のセーフネット」として、人々の命を支える最後の砦であるが、松井市長はこの制度についてどのような考えを持っているのか。

松井市長

生活保護制度は、憲法25条により国民すべてに認められた基本的人権である、健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度である。傷病により収入が途絶えた方、高齢で年金も



少なく扶養してくれる親族がいらない方、心身の障害により就労が困難な方など、さまざまな理由で日々の生活に困窮されている世帯を対象としている。

## 制度の正しい 運用を

吉田議員

市民の暮らしが良くなったので生活保護についての相談が減ったとは考えにくい。生活保護制度は高齢化や貧困の格差の広がり、行政の周知不足のために過去5年間を見ても、相談件数、申請件数、開始件数と

も半分には減っている。そこで、①生活保護申請用紙は、窓口の目のつくところに置く。②申請から決定までの期間の法定期限（14日間）を守る。③通院移送費（通院のための交通費）については原則支給すべきであること徹底していただきたい。

井上福祉保健部長

制度の周知も含めて徹底してまいりたい。



吉田議員

生活保護法第9条には、必要即応の原則が規定されている。保護申請に携わるケースワーカーは、要保護者の心情をよく理解し、懇切丁寧に対応しなければならぬし、技量も必要になってくる。

## 要保護者の心情理解し、 ていねいな支援を

### 新庁舎建設工事 始まる（地鎮祭写真）



1月11日、市役所新庁舎建設地鎮祭が行われました。地震倒壊の恐れがあるため、国の助成を受けて建て替えを行うことになりました。令和3年6月末に竣工予定です。

### 議案審議

一般会計補正予算（第3号）より一部紹介します

## グリーンパーク焼 却委託料の増え た原因は

吉田議員

グリーンパークのゴミ焼却炉等長期運営管理委託料に894万1千円が計上されているが、増えた原因は何か。

福井環境部長

灯油、その他の委託料については、物価指数の変動に合わせて清算をすることになっている。今回、灯油などが清算により増額となり、ゴミの処理量については減額となり、増減を合計して消費税を加えた結果、委託料が増えた。

吉田議員

平成20年に日立造船と結んだ契約書が基準

になっている。11年前と現在とは物価の変動がかなりあり清算の見通しがつかない。令和4年以降の日立との契約終了後の処理については、管理者を広く募ることや契約期間も5年程度の中期契約にされたい。

介護保険ニーズ調査の対象者と調査方法、桜井市臨時職員の給与等についても質問しました

## 生活相談は とうとうこちらへ

桜井市市議会議員吉田ただお事務所  
桜井市栗殿588-7  
電話・FAX

46-4930

必ず、電話  
してからお  
越し下さい

松井市長

今後、ケースワーカーの知識の技量を高め、確実な要保護者の支援の実施を図っていきたい。

最近も市役所に保護申請に行ったが受け付けてもらえなかったことと、法定期限が過ぎても申請者に何の連絡もないという事例があった。ベテラン職員と新人職員との連携や研修を通じてより専門性を構築されたいが。